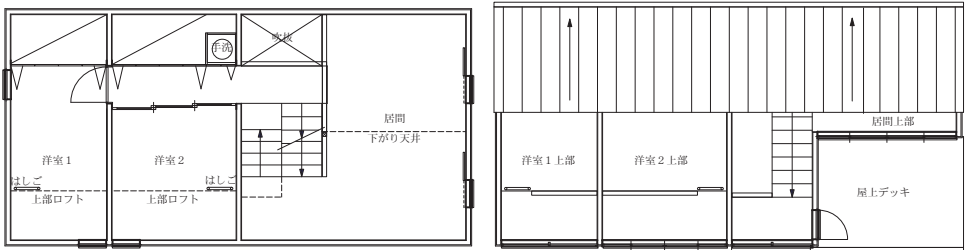


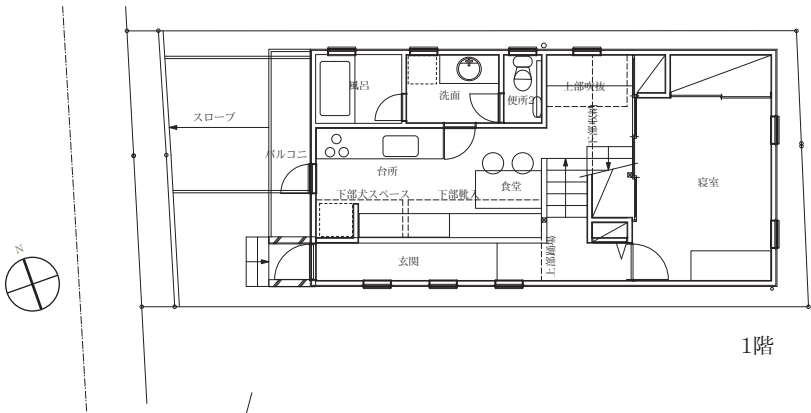
〈あさがやーふじもと〉 ASAGAYA F house

所在地：東京都杉並区
建築用途：住宅
主体構造：R C地下1階、木造2階

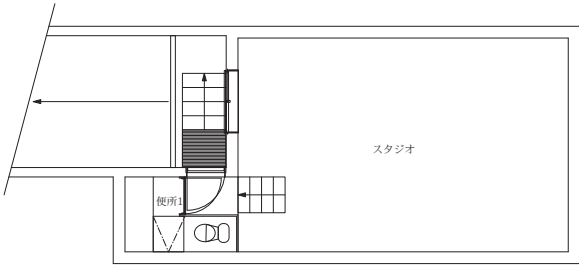
建築面積：47.90㎡
延床面積：93.82㎡



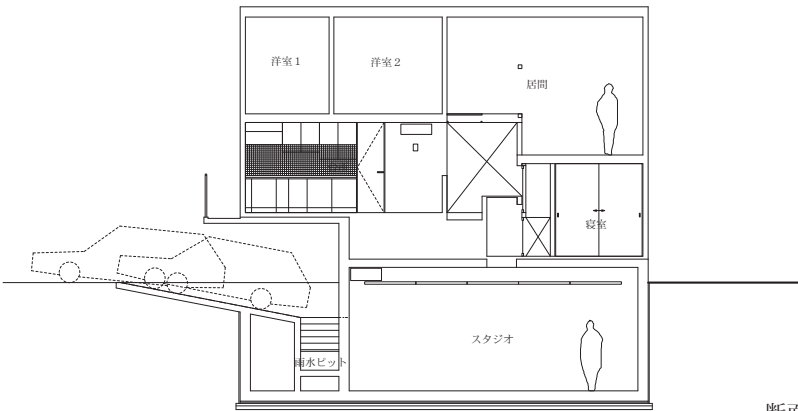
ロフト階 2階



1階



地下1階



断面図

「24坪の敷地・第一種低層住居地域・建ぺい率60％・第一種高度地区」
都市部によくある狭小住宅地の典型であるこの土地で、いかに豊かな内部空間が確保できるか？必要なのは「夫婦と子供二人と犬一匹」のための住宅と、3mの天井高の地下室（カメラマンであるクライアントの仕事場）と駐車スペースである。
まず建ぺい率をいっぱい利用し、高度地区の斜線と同じ角度の屋根を作り、地上部分に最大の空間を確保した。あとは地下方向に容積を確保していく。ただし地下の掘削深さを少なくすることがコストを抑えることにつながるため、床組の工夫でできる限り天井ふところを詰めていった。また、断面的にも平面的にも車の大きさで建物の一部がえぐり取られることになるので、微妙な寸法の調整を行うことで成立させる都市型住宅である。
スキップフロアによる立体高密ワンルーム空間
地下へのアクセス、車の寸法などから内部はスキップフロアを形成し、結果として地下室から、駐車スペース、屋上テラスまで含めて9つのフロアレベルを積層した。地上部は2100、2190、2260mmの天井高と210mmの天井ふところからなる空間がオープンな階段室でひとつにまとめ、密度の高い構成となった。採光や通風は主に建物頂部の窓を利用する。南面の一番高いところをすべて窓として、南に建つ隣家の屋根の上から得られる十分な光をすべて取り入れる。この光は階段室を通して1階部分にまで到達する。コスト的には地下室・全設備を含めて坪70万程度である。

